

平成 17 年度事業報告書（案）

平成 17 年度収支決算書（案）

自 平成 17 年 4 月 1 日

至 平成 18 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

I. 平成17年度事業報告書（案）

平成17年度については、関係者の協力により、本法人の事業目的を達成するために、大阪市で第9回世界大会ロボカップ2005を開催するとともに各種の事業を実施した。

また、ロボカップ活動の普及を図るため、Webサイトの運営等の広報活動や会員の募集等の基盤整備を図った。

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 一般会計事業

① 中型リーグ春季競技会の開催

5月1日～5日に金沢工業大学において、約50名の参加を得て開催した。

② 小型機リーグ練習試合及び研究会の開催

5月3日に桐蔭横浜大学において、約20名の参加を得て開催した。

③ 4足リーグ競技北九州大会の開催

5月3日～5日に北九州市西日本総合展示場において、約55名の参加を得て開催した。

④ 冬季キャンプの開催

当初予定の秋季キャンプに代わって、平成17年12月22日～23日に立命館大学において約100人の参加を得て、「サッカーシミュレーション」と「レスキューシミュレーション」の練習試合を行った。

⑤ ロボカップ4足リーグ2006東海大学オープンの開催

3月11日～12日に東海大学湘南校舎において、約35名の参加を得て開催した。

⑥ ロボカップジュニアジャパンの開催

5月3日～5日に日本科学未来館において86チームの参加を得て、ロボカップジュニア2005日本大会を開催し、第9回世界大会の出場チームを選抜した。

また、全国6ブロックで地域ブロック大会を開催した。

- ・九州ブロック大会：4月9～10日 福岡ロボスクエア（参加35チーム）
- ・北海道ブロック大会：4月10日 札幌北区北ビル（参加13チーム）
- ・北信越ブロック大会：3月18日 新潟県立自然科学館（参加37チーム）
- ・関東ブロック大会：3月26日 東京都立工業高等専門学校（参加93チーム）
- ・関西ブロック大会：3月26日 東京都立工業高等専門学校（参加73チーム）
- ・東海ブロック大会：3月26日 名古屋市科学館（参加41チーム）

さらに、指導者や公式審判を育成するために、全国3ブロックで「審判講習会」を開催し、第10回世界大会で適用される国際ルールの理解を深めた。

- ・九州ブロック：4月9日 福岡市ロボスクエア
- ・関東ブロック：3月3日 東京都立工業高等専門学校
- ・北信越ブロック：3月11日 新潟県立自然科学館

⑦ ヒューマノイド・チャレンジの調査研究

ヒューマノイド型ロボットの設計、制御等に関する技術動向について調査研究を行った。

⑧ Webサイトの運営

本法人の活動を紹介するホームページを引き続き運営し、ロボカップ活動の普及啓発を図った。

(2) 競技会特別会計事業

① 世界大会に参加する日本チームに対する研究奨励事業

7月13日～7月19日に大阪インテックス大阪市において開催されたロボカップの第9回世界大会のロボカップシンポジウムにおいて、優れた研究発表を行った日本の研究者に対して、2005年度ロボカップ研究賞を授与した。

また、(社)人工知能学会及び(社)日本ロボット学会の協賛を受けて、技術的に優れた競技会参加者に対して、各々の学会賞を授与した。

② 大阪大会旅費支払業務

大阪市からの委託を受けて、第9回世界大会の運営委員に対する旅費支給等の事務を行った。

③ 国際科学技術コンテスト支援事業

(独)科学技術振興機構(JST)からの交付金を受けて、競技会場費用及びロボカップジュニア参加者の旅費を支給し、第9回世界大会の運営を支援した。

2. 収益事業

平成17年度は、森田出版から「Javaで作るサッカー選手プログラム」及び共立出版から「中型ロボットの基礎技術」を出版した。

3. 庶務事項

(1) 平成17年度第1回理事会

- ①日 時 : 平成17年7月14日(木) 18:00~19:00
- ②場 所 : 〒559-0034大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102
「インテックス大阪」センタービル AB会議室
- ③出席者 : 理事6名 うち表決委任状を提出した者2名
監事1名
- ④審議事項
 - ☆平成16年度事業報告及び収支決算の承認
 - ☆平成17年度事業計画及び収支予算の承認
 - ☆役員の変更
 - ☆事務所の登記変更と従たる事務所の設置
 - ☆正会員の退会処理
 - ☆議事録署名人の選任
 - ☆その他

(2) 平成17年度通常総会

- ①日 時 : 平成17年7月15日(金) 8:30~9:15
- ②場 所 : 〒559-0034大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102
「インテックス大阪」センタービル AB会議室
- ③出席者 : 35名 うち表決委任状を提出した者20名
(欠席者 : 29名)
- ④審議事項
 - ☆議長の選出
 - ☆平成16年度事業報告及び収支決算の承認
 - ☆平成17年度事業計画及び収支予算の承認
 - ☆役員の変更
 - ☆事務所の登記変更と従たる事務所の設置
 - ☆正会員の退会処理
 - ☆議事録署名人の選任
 - ☆その他

(3) 平成17年度末の会員数

①正会員：73名（敬称略、平成16年度末は63名）

秋田純一、浅田 稔、浅間 一、安達正臣、五十嵐治一、石川恭輔、石黒 周、石野 明、石丸典生、伊藤栄一郎、伊藤暢浩、上田隆一、玉島琢巳、大金一二、大里延康、大橋 健、大橋正昭、大森康朝、岡田浩之、奥乃 博、長田道春、北野宏明、木村哲也、吉楽雅典、久保長徳、小林 浩、笹岡久行、佐々木元也、佐野典秀、篠原 歩、柴田祥一、嶋田 晋、清水 優、下羅弘樹、神成淳司、鈴木昭二、鈴木秀智、高橋友一、高橋泰岳、竹内郁雄、田所 諭、田中一基、津坂富浩、出村公成、寺本倫明、歳森 彰、徳田献一、鳥居 央、内藤 理、中川友紀子、長坂保典、中村恭之、成澤竜也、成瀬 正、西 晴樹、西堀賢司、野田五十樹、野村泰朗、橋爪 誠、林原靖男、藤井隆司、藤井飛光、前田陽一郎、升谷保博、松原 仁、松本哲志、村上 哲、森 康夫、森下卓哉、盛田明彦、矢澤洋一、大和信夫、渡辺正人

②研究会員：1社名（平成16年度末は0社）

ローラス株式会社

③学生会員：59名（平成16年度末は12名）

秋元俊成、浅野裕俊、安部 聡、荒井悠基、五十嵐達雄、井上 淳、大崎嗣豊、大西芳明、萩野哲歆、奥山哲郎、小畑智哉、加藤公德、神谷明弘、河合宏和、川島万理慧、桐林星河、久磨 隆、小林隆浩、小林隼人、坂井成道、佐藤 仁、真田 篤、塩入知也、菅原宏祐、杉山英輔、瀬戸口陽一、高羽和宏、箭子紗登美、武村泰範、タケヤマ トモキ、田村豊武、戸田国良、外山寛之、カノ ヨシタカ、夏目恵介、新妻秀一、西 智樹、野間健太郎、長谷川哲也、濱田瑞樹、浜松泰士、日野 圭、福家佐和、藤田陽介、細江尚弘、本間正人、牧島信太郎、榎井一博、水口博之、森 優雅、森崎慶太、八久保高志、横山絢美、吉川英樹、吉野宏二、渡辺絢子、CHIU YU-HUAN、Joschka Boedecker、Rodrigo da Silva Guerra

(計算書類に対する注記)

- ◎ 会費については、未収金の計上を行わない。
- ◎ 特定非営利活動に係る事業であっても、法人税法施行令第5条第1項に規定される収益事業（33業種）に当たるものについては、その所得に対する法人税、法人住民税（法人税割）及び法人事業税を納税する。
- ◎ 上記の場合、管理費については、特定非営利活動に係る事業の当期収入額に占める課税対象事業の収入額の割合で、課税対象事業の経費に配賦する。

Ⅲ. 平成 17 年度監査報告書

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会の平成 17 年度事業報告書ならびに平成 17 年度収支決算書の各項目について監査した結果、いずれも適正かつ正確であることを確認いたしました。

平成 18 年 4 月 14 日

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

監 事 佐々木 元 也 ,

監 事 矢 澤 洋 一 ,

貸借対照表

ロボカップ日本委員会

平成18年 3月31日現在 (単位:円)
資産の部

【流動資産】		
現金・預金	3,566,582	
流動資産合計		3,566,582
資産の部合計		3,566,582

	負債の部	
【流動負債】		
未払金	420,700	
預り金	1,000	
前受金	383,395	
前受金	112,000	
流動負債合計		917,095
負債の部合計		917,095
	資本の部	
【利益剰余金】		
当期末処分利益(損失)	2,649,487	
利益剰余金(欠損金)合計		2,649,487
資本の部合計		2,649,487
負債・資本合計		3,566,582

損益計算書

ロボカップ日本委員会

自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日 (単位:円)
 経常損益の部

【営業損益の部】		
【営業収益】		
【売上高】		
売上高	69,000	
年会費収入	271,000	
業務収入	18,549,783	
寄附金収入	1,079,345	
売上高合計		19,969,128
【営業費用】		
売上総利益(損失)		19,969,128
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		18,599,516
営業利益(損失)		1,369,612
【営業外損益の部】		
【営業外収益】		
受取利息	25	
営業外収益合計		25
【営業外費用】		
租税公課	400	
通信費	5,000	
営業外費用合計		5,400
経常利益(損失)		1,364,237
税引前当期利益(損失)		1,364,237
当期利益(損失)		1,364,237
前期繰越損益		1,285,250
当期未処分利益(損失)		2,649,487

販売費及び一般管理費内訳書

ロボカップ日本委員会

自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日 (単位:円)

会議費	240,000
旅費交通費	3,616,345
消耗品費	27,737
支払手数料	39,235
業務支出	14,352,634
租税公課	22,500
通信費	212,865
雑費	88,200
販売費及び一般管理費合計	18,599,516

利益処分案

(単位:円)

当期末処分利益の処分
当期末処分利益
次期繰越利益

2,649,487

2,649,487